

2011年6月3日

第5回 イービーエス株式会社 倫理審査委員会 議事要旨

日時：2011年6月3日

場所：リーガロイヤルホテル広島

審査委員：土肥博雄（委員長）、加藤寛（副委員長）、今田聡子、道下太英子、小林進

審議議題

1. 遺伝子分析検体として口腔粘膜細胞の採用および検査対象遺伝子の拡充について

議案

爪および口腔粘膜由来 DNA を用い、①FTO 遺伝子にみられる多型（rs1558902、rs9939609 等）、②ADIPOQ 遺伝子に見られる多型（rs1501299 等）、③ADRB3 遺伝子に見られる多型（rs4994 等）、④UCP1 遺伝子に見られる多型（A-3826G 多型等）、⑤ADRB2 遺伝子に見られる多型（rs1042713 等）、⑥PPAR $\gamma$  遺伝子に見られる多型（rs1801282 等）、⑦MC1R 遺伝子に見られる多型（rs2228479、rs885479 等）、⑧CYP2C19 遺伝子に見られる多型（rs4986893、rs4244285 等）、⑨CYP2C9 遺伝子に見られる多型（rs1057910 等）、⑩CYP2B6 遺伝子に見られる多型（rs10403955 等）、⑪MDR1 遺伝子に見られる多型（rs1045642 等）、⑫NAT2 遺伝子に見られる多型（rs1801280 等）、⑬ACTN3 遺伝子に見られる多型（rs1815739 等）、⑭UCP2 遺伝子（rs660339 等）、⑮ACE 遺伝子（rs4340 等）、⑯MT2A 遺伝子（rs28366003 多型等）、⑰IL1B 遺伝子（rs1143627 等）、並びに他社からの委託を受け体質に関わるその他の遺伝子多型を、PCR-RFLP 法（Polymerase Chain Reaction-Restriction Fragment Length Polymorphism）、PCR-CTPP 法（polymerase chain reaction with confronting two-pair primers）またはシーケンシング法およびこれらに準じる方法を用い、高精度かつ迅速にタイピングする体制を確立し、弊社が計画中の各種生活習慣病一次予防推進事業、美容事業、医薬品作用・副作用体質検査事業、遺伝子解析受託事業に活用できるようにすること。

倫理的観点から特に問題となり得る事項は見出されず、出席者の満場一致で承認となった。

以上